



奥入瀬渓流はコケの宝庫 「日本の貴重なコケの森」に選定

このたび、日本蘚苔類学会により、奥入瀬渓流が「日本の貴重なコケの森」に選定されました。全国では19カ所目で県内では初となります。また、来年の8月に焼山地区で第43回日本蘚苔類学会が開催されることが決定しました。奥入瀬自然観光資源研究会の鮎川恵理代表は「ネイチャーガイドの育成などを行い、今後も奥入瀬の景観を守り、次世代に引き継いでいけるように取り組みたい」と、意気込みを話しました。



報告に市役所を訪れた奥入瀬自然観光資源研究会の皆さんと小山田市長

奥入瀬川のきれいな姿を後世に残そう 30回目を迎えた奥入瀬川クリーン作戦

8月4日、奥入瀬川御幸橋下流河川敷を中心に「第30回奥入瀬川クリーン作戦」が開催され、市民など約600人が参加しました。参加者は7班に分かれて約1時間にわたり川沿いのごみを拾い集めました。

友達と参加した中田幹弥くん(十和田西高・1年)は「奥入瀬川は年々きれいになって来ていると思います。この地域に暮らしているので、少しでも役に立ちたいですね」と、汗を浮かべながら楽しそうに話しました。



蒸し暑い中、多くのかたが参加し、ごみを拾い集めました

第62回選抜高校相撲十和田大会 三農、惜しくも第3位

8月15日、市相撲場で「第62回選抜高校相撲十和田大会」が開催されました。前年度優勝校として連覇を目指す三本木農業高校は予選を突破し、決勝トーナメントへ進みました。1回戦、準々決勝と勝ち進み迎えた金沢市立工業高校(石川県)との準決勝、選手は必死に戦いましたが、1勝2敗で敗れ、第3位となりました。会場を訪れた約2,500人の観客は、地元校の頑張りに大きな拍手と惜しめない声援を送っていました。



準決勝の中堅戦。冷静に相手を見ながら攻め込む三農・育藤選手(写真右)

まちの魅力を取材し、壁新聞などで発表！ 寺子屋稲生塾「とわだ時空調査隊」

8月3・4日にかけて、中央公民館などで寺子屋稲生塾の4回目の講座が行われました。今回は、塾生たちが市内の店舗などを取材し、壁新聞などで発表しました。

参加した17人の塾生は、4班に分かれて取材を行い、集めた情報や写真を使いながら、工夫を凝らした壁新聞を作成しました。(宥成巴)取材した佐々木茉莉峰さん(三本木小・4年)は「取材は緊張したけどいろいろなことが聞けて楽しかったです」と、笑顔を見せていました。



取材先の畑中あんこやで大量の小豆に興味津々な様子を見せる塾生たち

真夏の夜を彩る華やかな踊り 三本木小唄 Flowers ナイト

8月10日、アート広場で「三本木小唄 Flowers ナイト」が行われました。これは、現代美術館で開催中の5周年記念展「Flowers」を祝い、郷土に伝わる「三本木小唄」などを華やかに踊ろうと同展実行委員会(坂戸勝会長)が主催したものです。会場には色取り取りの浴衣などに身を包んだ多くのかたが参加。曲に合わせて踊り始めると、いつの間にか幾重もの輪ができ上がり、色彩豊かなアート広場が一層華やいていました。



Flowerナイトにふさわしい華やかな浴衣姿で踊る参加者

みんなで自殺や死亡事故を防ごう いのちを守る運動月間総決起大会

市では安全安心なまちづくりを目指し、8月を「十和田市のいのちを守る運動月間」として定めています。

8月2日、市民文化センターで総決起大会が開催され、市交通安全協会会員や民生委員など約200人が参加しました。大会では、青少年の非行防止に取り組む市立三本木小学校(小向秀男校長)リトルJUMPチームの皆さんが「困ったことがあったら、家族や友達に相談します」など6つのいのちを守る運動宣言を行いました。



力強いいのちを守る運動宣言を行った三本木リトルJUMPチームの皆さん

肉用牛主産地づくりへの取り組み 鹿児島県から優良雌牛を導入

8月8日、三本木畜産農業協同組合で鹿児島県の種雄牛「安福久」号の子の雌牛25頭が22戸の畜産農家へ引き渡されました。これは、優良な血統を持つ雌牛の導入により、収益性の高い肉用牛の生産や黒毛和種の産地化を図ることを目的に行われたもので、購入を担当した市黒毛和種改良組合の沢目政光組合長は「やがて母親として活躍してくれる牛です。早く環境に慣らして、1年1産を目指してほしい」と、話していました。



畜産農家のかたがたは、引き渡される牛を見て満足気な表情を見せていました

十和田湖畔夜間散策の道しるべ 遊歩道にフットライトを設置

これまで夜間照明がほとんどなかった十和田湖畔休屋の遊歩道に、夕暮れ時や夜間の散策を楽しんでもらおうとフットライトが設置されました。7月22日には、乙女の像前で約100人が参加し、点灯式が行われました。遊歩道にライトが点灯されると、参加者は幻想的な雰囲気を楽しみながら辺りを散策しました。

このフットライトは、乙女の像から秋田県境の両国橋までの遊歩道約1.2kmを213基のライトで照らします。



フットライトの光が遊歩道を照らすロマンチックな雰囲気の中で湖畔を散策することができます